2023年3月 発行責任者 田口 弥生

Vol. 82

新人看護師基礎研修「一年間の振り返りと今後の抱負」

3階東病棟 土川

入職して1年が経とうとしています。当初は毎日がドキドキの緊張でした。今も緊張はしていますが、患者さんとの会話や、先輩の後ろ姿を通して看護師という仕事が、楽しいと思えるようになりました。薬剤や疾患についてまだまだ分からない事が多く、不安も多いですが、これからも頑張りたいと思います。



3階東病棟 松元

1年目は4階西病棟に配属となりました。緊張の日々で、業務を終わらすことでいっぱい、タイムマネジメントの難しさを実感。落ち込む日も多かったです。しかし、優しい先輩からのご指導では多くの学びがありました。2年目は、より成長ができるように学習を継続。忙しい業務の中でも、その人らしさを大切にした看護ができるように看護師を目指したいと思います。

3階東病棟 古川

1年間を振り返り、初めての社会人で看護師として働き始めて分からないことが多く、周りに迷惑をかけて申し訳ないという気持ちでした。仕事が終わってからも疾患や薬、処置についての勉強しました。日々の業務に追われて、看護をしたと実感する時間がありませんでした。2年目は継続して勉強をし、看護師としての責任をもち一日いちにちを大切に過ごしていきたいと思います。



4階東病棟 山口

入職してから約1年が経ちました。4階西病棟は主に脳外科と外科の患者さんとの関わりでした。最初は不安ばかり抱いて、失敗して反省する事も多かったです。しかし、忙しい中での先輩からの助言や指導をもらい、学びや経験を積む事ができました。そして、関わった患者さんからも暖かい言葉をもらったり、様々な方からも支えられた1年間でした。今後は新しい部署へ配属になりますが、日々学習をして頑張っていきたいと思います。

4階東病棟 久保

1年目は4西病棟で勤務させていただきました。先輩方の指導の下、1年を終えることができました。右も左も分からず日々業務を終えることが精一杯でした。患者さんにも、先輩方にもご迷惑をおかけしたと思います。2年目は新しい部署となりますが、4西病棟で学んだ事を活かせるよう振り返りを行い、日々学習していきたいと思います。



4階西病棟 大六野

昨年4月に私は3階東病棟に配属になりました。看護師として、患者さんを一人で受け持つことの責任感や疾患に対する知識不足などから毎日が不安でした。私は心配性なので先輩方に毎日何回も質問しましたが、丁寧に教えて下さったことをとても感謝しています。今でも入職当初と変わらず不安は取り切れませんが、いつか頼りにされるような看護師になれるよう日々学んでいきたいと思います。

4階西病棟 田端

右も左もわからないまま40歳にして入職。あっという間に1年が経とうとしています。この1年間を振り返ると、日々の業務に追われてミスのないように、時間通りに検査に出せるように業務を優先するあまり、患者さんの立場を考えた看護とは程遠い毎日だったように思います。1年を目前にして部署異動や病棟の縮小など、戸惑うことも多かったですが、2年目はもっと患者さんに寄り添った看護をしていきたいと思います。



院内研修





急変時シミュレーション

3階東病棟 上城

2月4日(土)に急変時シミュレーションを実施しました。

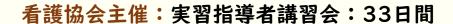
エルダーを中心に、早い段階で新人看護師を対象に、急変時シミュレーションを計画しました。しかし、COVID-19の流行等で実施が延期となっていました。実施ができないまま、新人さんは異動となって、すぐに急変に対応を必要なる場面となりました。その後、新人さんが「何もできなかった」と悔しい思いをしたと話を聞き、急でしたが計画して救急シミュレーションを実施しました。参加は異動した新人さんと、12月にACLSを受講したメンバーを中心にして実施して、多くの課題が出ました。次年度は今年度の事を踏まえて数回開催を計画。課題に対しても解決できるよように取り組みたいと思います。











HCU副師長 皮籠石

今回33日間の実習指導者講習会に、年末・年始でコロナ流行中もありましたが、病院とスタッフの協力にて参加することができました。HCUでは学生の受け入れはしていませんが、以前より指導者として学生との関わりで、学ぶ姿勢と表現力の低下についてと、コロナ禍の限られた機会の中での関わり方について悩んでいました。受講をして教育とは何か、実習指導者の役割について学ぶ事ができました。実習は学生が主体であり、理想像を自然と重ねます。

指導者として、学生を教える時の前準備を作り、学ぶことができるような環境を提供できるよう にしていきたいです。またコロナの影響で、実習は貴重な場となっています。多くの事を学ぶこと ができるように、準備する段階から考えていく必要があると思いました。

看護協会主催:新人看護職員卒後研修実地指導者研修に受講して

3階東病棟 森

今回、三日間の新人看護職員卒後研修実地指導者研修を受講してきました。元々、人に何かを教えるのは不得意で、以前から教育や指導というものに対しての苦手意識がありました。今回の研修を経て、教育というものの本質や効果的な関わりについて学ぶ事ができました。4月より配属になる新人職員の成長を後押しできるよう、他指導者を含め、病棟一丸となって関わっていければと思います。





「日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会」に参加して

4階東病棟 下麦

R4年11月4日~5日、病棟を代表し「日本医療マネジメント学会」九州山口連合大会に参加してきました。主に看護業務・医療の質・患者サービス・教育の分野の発表をそれぞれ聴講し、業務においてはセル看護構築への研究など実際に当院と重ねて考えることもでき創意工夫・改善していく点が少しばかりみえたようにも思います。ですが業務改善ばかりに目がいき、教育・質・サービスが落ちる様ではいけない、この4つの軸は均等にバランスを保ってこそ医療の基盤として、とても大切な内容であるということが理解できました。今回は地方学会だったこともあり、鹿児島から九州内の多数の病院、近隣病院も研究発表をされておりとても刺激になりました。医療マネジメントと言えば難しく聞こえ行きたくない気持ちの方が先行しましたが、久しぶりに院外の病院の研究発表を聞いたり、最新の医療機器メーカーの展示を見たりして有意義な時間となりました。

「お知らせ」



看護研究のWeb配信をしています。 病院HPより視聴してください。

視聴期間:令和5年2月13日~6月30日

※ 視聴後アンケートがありますので、ご協力を お願いします。







ミニナラティブ



HCU 久保

Dさん80歳代女性、心筋梗塞を発症しPCI後に、HCUへ入室しました。認知症があり、BIPAPを装着。せん妄状態となり、鎮静剤と身体抑制を開始しました。BiPAPは離脱ができても、せん妄状態は持続、向精神薬の内服も追加となりました。薬でのコントロールでは難しかったですが、食事に対する思いが強いことに、づき、栄養科とも相談。10時と15時に間食の提供を開始すること、少しずつ落ち着くことができるようになり、抑制を解除することができるようになりました。自精神薬も減量できることができ、一般病棟へ転棟することが出来ました。Dさんの看護を通して、せん妄リスクが高い患者さんは、多職種での連携が不可欠であり、せん妄に対するケアを生活背景や既往歴から把握し、スタッフで協力して行うことが大事であると感じました事例でした。





手術室 刀根

私の最近のマイブームはパン作りです。

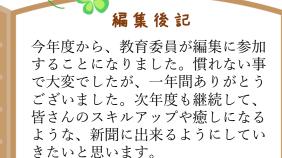
私は昨年4月に鹿児島に引っ越してきました。引っ越して くる前まではパン教室に通っており頻繁に作っていました が、引っ越してからは全然作っていませんでした。

インスタでパン作りのアカウントをみて感化され最近また作り始めました。パンをこねるのは力がいりますがストレス発散になりとても爽快です。

将来はフォロワー10万人以上のパン作りのインスタグラマーになりたいです☆







皮籠石



